

“出雲”生まれに注目 ～出雲の産業って、おもしろくて、すごい!～

「出雲」では、日々たくさんの優れた製品が生まれています。

出雲ブランド化推進市民委員会(平田明子委員長)では、「出雲ブランド商品」をもっと知ってもらいたい、そのためにはまず自分たちがもっと知る必要があるとの思いから、工場見学会を開催し、市民の言葉による出雲の産業の魅力発信に取り組んでいます。

2回目の工場見学は、市商工労働課と合同で、3月24日に、総勢60人の参加で開催しました。今回も2つの視点で出雲の優れた「生産技術」を紹介します。

視点 その1 子どもたちに伝えたい出雲の産業

子どもたちに「夢」を、働く皆さんにさらなる「誇り」を!!
世界中で、日本中で使われる商品をつくる素晴らしい技術が出雲にあることを伝えます。

視点 その2 出雲ブランド商品物語

使ってわかる良さに加え、商品誕生に至る物語・歴史などの背景にも触れ、商品の魅力を伝えます。

工場見学レポート (概要版)

※次の記事は、工場見学に参加された皆さんの取材メモに基づくものです。

今回は「ノートパソコン〔株島根富士通〕」を紹介します。

創業24年。

出雲は地震が少なく、
交通利便性が高い
ところにある。

累計3千万台
生産を達成。



日本一の生産量

多品種・小ロット
を一貫生産

工場見学随時受付中
(グループのみ)

メイド イン ジャパン
メインボード製造から最終組立まで一貫生産

◆参加者の声

- ◎細やかな作業できちんと製造される過程を直接見ることができ、出雲ブランドにふさわしく、世界にも自慢できる商品であることを確信した。
- ◎流れ作業工程の中でも同じ製品を作っているのではなく、種類の違うものを順次組み立てていることにびっくりした。
- ◎機械・ロボット・人との連携がうまくいっている。顧客重視の製品管理が十分されている商品である。
- ◎日本の製品は、高品質、高機能、充実したサポートが魅力だと改めて感じた。
- ◎出雲ブランドとして世界に進出するパソコンに自信を持った。出雲人として誇りである。



製造工程ラインの説明

◆子どもたちに伝えたい出雲の産業

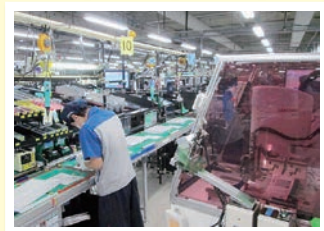
- ◎何より、最先端のパソコン、世界で使われるパソコンが出雲の地で作られているという事実をもっと伝えて、出雲に誇りを持ってもらいたい。
- ◎株島根富士通のパソコンの生産数は日本一ということ。(知らない人がまだ多い)
- ◎株島根富士通には素晴らしい技術があり、今後子どもたちにも地元でこの素晴らしい仕事に就業してほしい。それだけの魅力がある。
- ◎出雲人の勤勉さ、仕事に対する熱意、技術の高さが世界に誇る製品を作り出している。ものづくりは立国の原点であり、日本人が世界に誇る魅力である。
- ◎常にこれで終わりということではなく、日進月歩秒単位で改善が進められている。このことの重要さを子どもたちに伝えたい。



ネジ締め体験中

◆出雲ブランド商品物語 「見えない地道な取組を自慢の製品に表わす！」

経営理念「人は仕事で成長し、社会に貢献する」に基づき、品質保証の仕組みや改善提案システムを作り、品質向上に取り組まれている。限られた人員・経費の中で、いかに効率よくするかは、そこで働いているすべての人が常に考え、行動するという取組・意識が必要である。これを実践した結果が品質に表れている。



製造ラインで担当作業に集中する社員

出雲ブランド化推進市民委員会「神話の紙芝居プロジェクト」

新作紙芝居「オオクニヌシとスセリヒメ」を市内図書館に配置しました。

出雲ブランド化推進市民委員会では、生まれてよかった、住んでよかったと実感できるまちづくり「出雲の真のブランド化」に向けた取組を進めています。

その活動の一環として、子どもから大人まで広く「出雲神話」に親しむきっかけとなるよう、新作紙芝居を作成し、市内7つの図書館に貸出用として配置してもらいました。

気軽に「出雲神話」を伝え、「出雲」への愛着をさらに深めてもらうきっかけづくりになることを期待しています。

この活動は、市民委員会と思いを共有したアスティママ（平田本町商店街振興組合の女性グループ）と役割分担をして取組みました。これからも、「大好き☆出雲！」の思いを共有する市民のみなさんと一緒に取組むことで、「大好き☆出雲！」の思いが市内のあちこちで花開くといいなと思っています。



紙芝居の説明をする平田委員長

■大好き☆出雲！バッチ販売中 1個200円（税込）

市役所売店（ふたばショップ）、吉兆館、出雲市文化観光案内所（アトネスいずも内）、出雲弥生の森博物館にて販売中

おたすね / 出雲ブランド化推進市民委員会（大好き☆出雲！倶楽部）事務局 出雲ブランド室 ☎21-6274

大好き☆出雲！
IZUMO

ふるさと寄附のお礼とお願い

「日本の心のふるさと出雲」 応援寄附のPRにご協力ください



平成26年度に寄附金を活用する事業（予定）

- 歴史文化資源の保存・活用や出雲の魅力発信など観光振興 1,717万円
*観光ガイド育成、交通渋滞対策、出雲大社国宝本殿ほか建造物の保存修理など
- 高齢者の「人生100年・生涯健康」 412万円
*外出困難な高齢者への福祉乗合タクシー運行事業
- 産業・福祉・教育・環境などの充実・発展 1,480万円
*出雲ブランド商品認定・情報発信、福祉タクシー利用券交付、学校図書購入、ごみ減量化推進など
- その他、特に市長が認める事業 2,991万円
*出雲のブランド化推進事業（出雲の魅力の情報発信）など

ご寄附をいただいた皆さまは

- 確定申告により、所得税・個人住民税から2千円を超える額の一定限度額まで控除（減額）されます。
- 市外在住で1万円以上の寄附をしていただいた皆さまに、出雲市の特産品（送料込5千円相当）を進呈します。市内事業所から応募のあった53品目の中から選んでいただきます。

クレジットカードによる寄附の納付もできます。

寄附の申込方法など詳しくは、市ホームページ「ふるさと寄附」または本庁・支所にあります「ふるさと寄附パンフレット」をご覧ください。

おたすね / 出雲ブランド室 ☎21-6274

「ふるさと納税制度」で、出雲市出身や出雲市に心をお寄せいただく全国の皆さまから、広く寄附を募り、皆さまの思いで、観光や産業、福祉、教育、環境など、さまざまな分野の事業に活用させていただきます。

平成25年度は、過去最高となった平成24年度をさらに大きく上回る4,800名の方から、6,629万円もの温かいご寄附をいただきました。ご寄附は、平成26年度の次の事業に活用する予定です。

ぜひ、市外にお住まいのご家族や知人・友人の皆さまに、この制度を紹介していただきますようご協力をお願いいたします。